

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	利用者が増えた場合は、公民館を活用している。	・学習や食事、自由遊びなどの各場面でルールを設け、密集しすぎたり、騒がしくなりすぎたりしないように工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	ている。利用者に合わせた対応を心掛けていきたい。	・現利用者に対する支援としてのバリアフリーは配慮している。スロープや手すり等の設置は、必要に応じて対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		・年間計画、月の行事、担当者会議、個別の支援計画作成等、運営や個別の対応に関してできる限り職員全体で提案や改善の意見を出し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		・県や福祉の団体が主催する研修には積極的に参加している。また、利用者の実態に合わせた図書を事業所で購入している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		・保護者が記入したアセスメントシートを基に、個別の対応を話し合い、支援内容や役割分担を決定している。必要に応じて会議を行い、柔軟に改善を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		・個別の実態や、当日のグループに応じた活動内容の提案を行うようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		・行事計画において、前回実施時の振り返りを行い、グループ分けや実施内容が最適なものになるように検討をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		・実態に応じた活動の提供に心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・前日の活動内容のメモを基に、午前中に支援の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		・記録のとり方の工夫を行い、記録の付けやすさや、記録内容の共有のしやすさを検証し、必要があれば加除修正を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		・モニタリングや担当者会議には、支援にかかわる職員ができる限り出席し、様々な視点から意見が出るようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0		・保護者とのコミュニケーションを大切にし、必要があれば第三者として学校へ確認や、連絡調整を行うことがある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5	医療的ケア児の利用者実績なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	寿公園に来ている子どもたちと自然な交流ができています。	・近隣の公園で活動する際に、近所の遊びに来ている子供たちと、ドッチボールや野球、鬼ごっこ等、一緒に活動する機会がある。ただし、個別の事情を考慮して、無理に参加させないように配慮している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	3		・放課後等デイサービス連絡協議会へ加盟。毎月の研修に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		・登校日は送迎の際に、必要に応じて口頭で活動内容や様子を伝えるようにしている。また、休校日は連絡帳に写真を添付し、活動時の表情や状況が分かりやすいように情報提供を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	送迎の際に、個別の相談受付やアドバイス等を行っている。	・発達や特性について、保護者と一緒に考えたり、事業所で取り組んでいることや教材等の提案を必要に応じて行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		・説明内容や場所、タイミング等必要に応じて改善を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		・久々の保護者会の開催ができ、前向きな反響をいただくことができた。来年度からは2回の開催を計画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		・事実確認等を速やかに行い、送迎の際に直接対応ができるように心掛けます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		・地域のリサイクル活動に協力している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		